

令和2年度 港南区 運営方針期末振り返り

～ 愛あふれる♥ふるさと港南に ～

基本目標

- ・ 地域の皆さまと協働でつくる「安全で誰もが安心して元気に暮らせるまち」
- ・ 区民生活の基本となる「行政サービスを正確・丁寧に提供する区役所」

主な事業・取組の期末振り返りの状況

1 安全・安心のまちづくり

自分の身は自分で守る「自助」、となり近所の助けあいなどの「共助」への理解が進むような啓発を積極的に行い、地域・事業者との連携により、安全・安心のまちづくりを進めます。

【具体的な取組】

災害に強いまちづくり

- ・ 食料や飲み水の備蓄に加え、トイレパックの備蓄や家具転倒防止対策の充実により、いざという時にも住み慣れた自宅での避難ができるような「在宅避難」の備えをPRします。
- ・ ハザードマップによる周知と合わせ、地域の皆さまと一緒に風水害発生時の避難所運営について検討し、激甚化する風水害への備えを進めます。
- ・ 「ひまわり防災ツアー」や改訂版「港南区防災ガイド(小学生編)」を活用した授業により、子ども・子育て世代に向けた地震や風水害への防災力アップに向けた取組を実施します。
- ・ 「みんなにやさしい避難所づくり」をテーマとした講演会やワークショップの実施により、要援護者や女性の視点を取り入れた地域防災活動の支援を行います。
- ・ 地域防災拠点でのペット同行避難訓練への支援等により、災害時のペット対策に関する取組を進めます。

【達成状況】

- ・ 広報よこはま9月号で、避難場所での3密回避のために在宅避難の検討を勧める記事を掲載。あわせて、大地震と風水害時の避難場所の違いやハザードマップを活用したマイ・タイムラインの作成について紹介。3月には、港南図書館で在宅避難生活に必要なグッズや非常食等の展示を実施。
- ・ 家庭で避難計画を策定してもらうことを目的に、区内全小中学生に対してマイ・タイムライン作成シートを配布。(16,180部)
- ・ 地域、学校及び消防署と協働で、防災ガイド【中学生編】を改訂し、風水害避難場所や在宅避難・分散避難の必要性などについて掲載。
- ・ 避難所での災害時要援護者への対応や感染症対策等をテーマに人権啓発・防災講演会を開催(12月21日、93名参加)。
- ・ 地域防災拠点運営委員会でのペット同行避難啓発を実施(10～11月、計3拠点)。新たに犬を飼い始めた飼い主へ、講習会の代替としてペット手帳とあわせて啓発リーフレットを郵送(11月、272名)。

「もしも」の見守り・支えあい

- ・ いざというときに、災害時要援護者(避難誘導や避難生活などで支援が必要な方)への支援が円滑に行われるように、地域の中での取組をサポートします。

- ・ 絆塾つ下永谷(7月)において、災害時要援護者支援や避難の考え方等について意見交換を実施。
- ・ 災害時要援護者支援パンフレット(風水害編)の改訂を実施(10月)。

防犯・交通安全の推進

- ・ 近年急増している振り込め詐欺の被害や子どもたち・高齢者の交通事故を防ぐため、地域、警察などの関係機関と連携した取組を進めます。

- ・ 防犯合同パトロールを59団体で実施。
- ・ 交通安全啓発キャンペーン及び安全安心まちづくりキャンペーンを実施(12月)。
- ・ 区役所1階区民ホールで防犯啓発パネル展示を実施(3月)。

2 見守り・支えあいのまちづくり

向こう三軒両隣に「お互い様」の関係ができ、いざというときにも助け合えるよう、様々な担い手による見守り・支えあいの輪が広がるような取組を進めます。

【具体的な取組】

日頃の見守り・支えあい

- ・ ふだんの生活の中で登下校時の子どもを見守る環境づくりを行う「港南ひまわり83(ハチサン)運動」を地域全体で進めます。
- ・ 認知症の方と関わる機会の多い事業者の皆さまとの連携により、認知症への理解と見守りを行う取組を進めます。
- ・ 熱中症予防を通じた地域のつながりの場「まちの給水所」の支援を行います。

【達成状況】

- ・ 港南ひまわり83運動啓発のため、区民ホールでのパネル展を実施(9月)。また、公園愛護会に帽子を配布し、普段の活動の中での83運動への協力について依頼。
- ・ 港南ひまわり83運動の推進の一環として、商店街と連携した取組を展開していくこととし、商店街モデルの83太郎のデザインを作成。
- ・ 認知症の方への見守りに関する目印やグッズを紹介したリーフレットを作成(3,500部)。区役所で認知症啓発パネル展を行い、図書館では関連書籍案内コーナーを設置。

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者の万が一のお守り「ひまわりホルダー」の周知を進めます。 ・障害理解啓発ポスター、クリアファイルなどを活用した啓発や、障害者スポーツを通じた障害者施設と地域との交流支援など、地域で障害理解を進める取組を行います。 ・「あいさつ」や「声かけ」をきっかけにした、ゆるやかな見守りに協力してもら見守り協力事業者への呼びかけを地域ケアプラザと連携して進め、事業者の皆さんの取組を「まちの見守り通信」として発信します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な感染症対策について事業者と調整し、「まちの給水所」を区内7か所で実施。 ・広報よこはま7月号で障害理解啓発の特集を掲載し、障害理解啓発ポスターや誰もが一緒に楽しめるスポーツ（ボッチャ）等を紹介。 ・コロナ禍で感じていることなどを取材し、まちの見守り通信を発行。協力事業者への送付時に83運動ポスターやメンタルヘルスケア啓発グッズも同封。
<p>3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり 「健康アクションこうなん5」の実践を呼びかけ、誰もが健やかに、健康寿命を延ばす取組を進めます。また、医療・介護・介護予防・生活支援等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めます。</p>	
<p>【具体的な取組】</p>	<p>【達成状況】</p>
<p>健康アクションこうなん5の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き世代の健康づくりを進めるため、専門職派遣や区内事業者の皆さまの取組事例の共有等を行い、事業者の皆さまと一緒に「健康経営」に取り組みます。 ・がん検診受診率向上のため、受診勧奨リーフレットを区内医療機関で配布するほか、働き・子育て世代に向け、区役所肺がん検診においてインターネットでの受付や一時保育を実施します。 ・学校との連携により、小学校6年生に向けた喫煙対策授業を行い、子どもの健康意識向上を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営の支援について事業者と連携し、ウェブ会議や電話等を活用し、新規事業所開拓を実施。（経済局及び健康福祉局モデル事業） ・健康経営新規認証事業所：51事業所 ・離乳食に関する啓発動画を作成し、7月から市YouTubeチャンネルで配信したほか、乳幼児健診時にも活用。 ・「ベジメータ」を使った野菜摂取量の測定会を港南区産野菜の直売会とあわせて行い、約200名が来場。
<p>切れ目のない子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から出産、乳幼児期、就学時にわたり、子育てに関する相談など親子に寄り添った切れ目のない支援を充実させていきます。 ・主に就学前の子育ての不安・負担感を軽減し、地域での子どもの健やかな育ちを支えるため、子育て支援の充実に向けた取組を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時の面接等保健指導実績：99.6% 6月から土曜開庁での保健指導を開始し、面談実施率が向上。（昨年度98.9%） ・例年就学時健診で実施している放課後の居場所相談ブースの設置は見送り、代わりに例年よくある質問などをまとめた資料を就学通知とあわせて送付。
<p>高齢者が自分らしく暮らせるような支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が安心して生活できる地域づくりを進めるため、認知症や介護予防、権利擁護の普及啓発を行います。 ・「港南〇〇（おうえん）たい」や移動販売など、事業者の皆様と連携した取組を進め、買い物や移動が困難な高齢者等を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防を推進する人材のスキルアップやモチベーションを高めるため、体操指導者研修会及び元気づくりステーション交流会を開催。 ・広報よこはま1月号で「健康寿命を延ばそう」をテーマに介護予防の取組を啓発。 ・31販売箇所において移動販売を実施し、買い物支援・社会参加・介護予防の取組を推進。
<p>生活基盤の安定と自立の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザ等との連携により、生活困窮者の早期把握や自立した生活を支える取組を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者の発見・支援のための地域ネットワーク構築に向けた検討を各地域ケアプラザと進めた。日下地区では、10月の地区民児協にて昨年度作成した「相談案内カード」の使い方について説明会を実施。
<p>4 住み続けたいまちづくり SDGsの視点をふまえ、地域の美化活動やごみの減量化、地球温暖化対策、食品ロス削減、プラスチック対策等の普及啓発を行います。また、歩行者の安全に配慮したまちづくりを進めます。</p>	
<p>【具体的な取組】</p>	<p>【達成状況】</p>
<p>街並みのクリーンアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川で行われるクリーンアップ活動や、道路や公園など地域の中で美化活動をする皆さんの取組をバックアップします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2か所の河川クリーンアップを分散・縮小開催。（参加者600名以上） ・地域の美化推進連絡協議会やJTと連携し、上永谷駅前のポイ捨て防止啓発を実施。 ・公園愛護会への各種講習や花壇づくり・草刈り等支援を実施（18公園）、ハマロードサポーターに活動支援物品を配布（29団体）。

<p>ヨコハマ3R夢プランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ、ローリングストックを活用した食品ロスの削減を中心としたごみの減量化・3Rを推進します。 ・講演会の開催等によりプラスチック削減に向けた啓発を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スーパー店頭や小学校、保育園での3R夢啓発を実施（計10回）。 ・区役所及び港南事務所で新たにフードドライブの常設窓口を開設（9月）。 ・食品ロス削減講演会を開催（10月、12月）。 ・プラスチック削減啓発の講演会を開催（8月）、上大岡小学校のプラスチック削減研究動画と資料を区役所で展示（3月）。
<p>歩行者の安全に配慮したまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公道の階段に手すりの設置・補修を行うことなどで、いつまでも安心して外出できるような環境づくりを進めます。 ・子どもたちの安全を確保するため、通学路の安全施設や路面表示の新設・補修を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公道の階段への手すり設置：6か所。 ・通学路の安心カラーベルト：約1,700mを新設・補修。 ・交通安全施設等補修：5か所。
<p>正確・丁寧な行政サービスの提供</p> <p>区民の皆さまを心をこめて温かくお迎えし、「来てよかった」と感じていただける区役所づくりを進めます。また、区民生活の基本となる行政サービスを、お一人おひとりの気持ちに寄り添いながら正確・丁寧に提供します。</p>	
<p>【具体的な取組】</p>	<p>【達成状況】</p>
<p>区民生活の基本となる行政サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手続きが関連する窓口が連携し、区民の皆さまの利便性向上に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応を最優先の業務として、職場間の応援体制を整え全庁的に取り組んだ。年末年始を含め、各種相談対応や発生届にもとづく本人への聞き取り、宿泊施設調整及び安否確認の連絡などを実施。 ・特別定額給付金に関する質問・相談の臨時窓口を6月5日から7月31日まで区民ホールに設置し、約1,800件の相談対応を実施。 ・マイナンバーカード交付申請の増加に対応するため、令和2年12月から交付窓口を段階的に増設し、迅速な交付を推進。
<p>支援を必要としている方々への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を行う各窓口や、関係機関が連携しながら各種制度を的確に運用し、一人ひとりに寄り添った支援を行います。 ・支援に関わる職員がお互いに学び合い、職員力・組織力を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーカー会議、福祉保健センター看護職会議では、情報共有と研修を行い、課を超えた連携と相談に対応する支援技術の向上を図った。 ・各種制度の理解を進めるための講座や支援力を高める関係機関との研修を随時開催。 ・支援調整会議の開催など区役所内外の関係機関との情報共有・連携強化を進め、支援を必要としている方へ多方面からのアプローチを実施。
<p>わかりやすい情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民の皆さまに「寄り添った」窓口対応、「伝える」広報に取り組みます。 ・適切・的確な情報発信を行うとともに、イベント情報や開催の様子等についても積極的に区民の皆さまにお知らせします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年6月に地域密着型アプリ「ピアZZ」を運営するPIAZZA株式会社と本市初となる連携協定を締結し、区政情報の新たな発信ツールとして活用。 ・区ウェブサイトにて区政情報発信ツールをまとめたページを作成するとともに、区民の皆さまの目に留まるよう、トップページ上部のスライドショーに画像を設定。 ・広報よこはま区版、ウェブサイト、区民生活・防災マップ等を活用し、区政情報や生活に必要な情報などをわかりやすく提供。